

タイム測定をして幾つかの改正点がありました。また、今年の改正案を踏まえご検討願います。

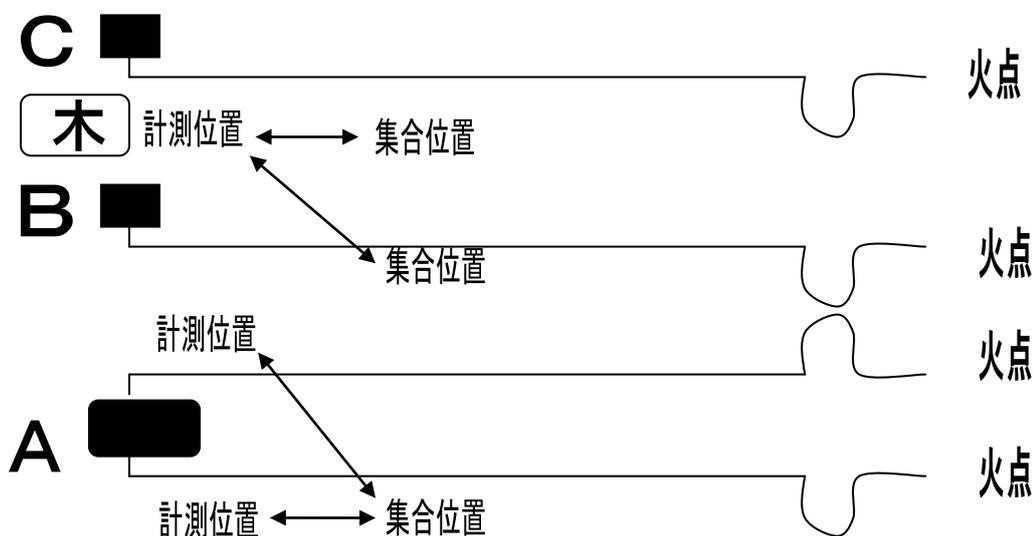
※尚、小型ポンプでのタイム測定で、大会中に審査班長と協議し既に一部改正済みです。

◆小型ポンプ操法およびポンプ車操法のタイム計測と記録について（現状）

- 【人員】 小型ポンプ操法：計測3名と記録2名 ポンプ車操法も同様 合計10名
- 【号令】 代表計測員が指揮を執る「起立・右向け～右・駆け足～進め・0確認・計測用意」など
- 【集合と位置】 審査員に同行、小型ポンプ操法：コースの右側で行う。ポンプ車操法も同様
- 【撤収】 演技終了の「撤収」に合わせ集合位置へ戻る。小型ポンプ・ポンプ車操法も同様

◆改正（案） 今年度実施される市操法大会のタイム想定場所の変更に伴い提案致します。

- 【人員】 小型、ポンプ車に各3名の計測員と各1名の記録配達員 計8名
※担当は固定ではなく4名でのローテーションで行うのが好ましい。（休憩を踏まえ）
- 【号令】 審査班長の号令に従う。※開始合図の白旗で起立し、ストップウォッチの「0確認」のみ
- 【集合と位置】 小型ポンプの集合位置は従来通り審査員に随行、但しタイム測定は下記の位置で行う。
※Bコース右側での測定はポンプ車操法の邪魔になる為。
ポンプ車操法の集合位置は従来通り審査員に随行、但しタイム測定は下記の位置で行う。
※第1線計測後、速やかに第2線（左側）測定位置に移動すること
※1線・2線の計測位置は4番担当の審査員と総合審査の邪魔にならない様に気をつける。



- 【撤収】 小型ポンプ操法 計測が終わり次第撤収 ※木の下付近に待機（審査の邪魔に成らぬ様）
- ポンプ車操法 第2線側の計測が終わり次第撤収 ※集合位置付近

※尚、今年も私がタイム担当員としてくれれば、昨年の件を踏まえこれらの詳細を説明致します。

◆ホース測定の見査方法の統一について

(現状…昨年の様子)

- 1.基準となる20m赤テープの貼り方が分かっていないのでは？
- 2.基準合せが統一されていないので、検査員と検印担当者が行ったり来たり…要領が悪い。
- 3.そもそもホースの構造、測定部分（金具・リング・ハカマ）を理解していない。
- 4.寸足らずホースの対処法を分かっていない。

※この様に測定者がホース測定をよく理解していないため、団員に指示出来ず…時間がかかる。

【測定および検査の統一方法 案？】

- ①赤テープは操法コース設営と同様（待機線・集合線・停止線等）の貼り方で統一する。団員に合わせる。
- ②基準合せ担当者は、団員に赤テープに対してのホースの合わせ位置を指示し待機させておくこと。
尚、その際に寸足らず場合の対処法も指示しておくこと。
※対処法：両側3名以上の団員にてホース引き合う。10cm前後なら簡単に伸びる。
それでも寸足らずの場合は再検査。（後回し）
- ③基準合せ担当者は手を上げるなどの方法で、対面検査員に伝える。

例として…

下記の図の様にテープの合せ位置、ホースの合せ位置が分かっていないと ±5~10cmの誤差になる。

基準合せ側

